

地方分権改革の旗手会議（令和元年度第一回）の概要

【日 時】 令和元年7月29日～30日

【場 所】 中央合同庁舎第4号館

【参加者】 1日目：26名、2日目：22名
（いずれか1日のみ出席を含む）



● 地方分権改革推進室からの説明

地方分権改革推進室参事官より、令和元年提案募集の状況、提案募集方式の5年間の成果と課題、最近の地方支援の取組み及び今後の取組みの方向について説明しました。



● 自治体における取組事例の紹介

北海道より、平成30年北海道胆振東部地震被災3町の提案を支援した取組み、島牧村（北海道）より、提案募集方式を活用した高齢者福祉施策の推進、茅ヶ崎市（神奈川県）より、職員研修会や事前アンケートなどの取組みについて、それぞれ紹介いただきました。



【北海道の説明】

（参加者の声）

- 北海道、島牧村の事例が参考となった。制度が正しく周知・活用されれば、住民サービスにつながるものがあらためて感じられた。
- 茅ヶ崎市の例として、支障事例の掘り起こしとして庁内での「事前相談アンケート」の取組が挙げられていたが、参考になる取組であった。
- 他市の取組を実際に何うことで、提案の掘り起こし等参考になる部分があり、勉強になった。

● グループディスカッション

4～5名ごとの都道府県のグループ及び市町村のグループに分かれ、他の自治体にPRしたい取組み、提案募集方式のさらなる活用及び成果の活用に向けた取組み等をテーマとした意見交換とその発表を行いました。



● 有識者による講演

伊藤正次 首都大学東京大学院法学政治学研究科教授より、「提案募集方式による地方分権改革の成果と展望」について講演いただきました。



○ 会議全体の評価

（令和元年度第一回旗手会議参加者アンケート結果）

回答内容	回答数	構成比
よかった	17	(63.0%)
どちらかといえばよかった	8	(29.6%)
無回答	2	(7.4%)
計	27	(100.0%)